

市電の ふるさと



札幌市資料館とカナル（水路）

木製2軸電動客車
(大正13年8月～昭和27年7月)

市電まつり

第五回市電まつりは、平成七年八月十九日(土)(前夜祭)、二十日(日)の二日間に行われて、電車事業所と南二十二条西十五丁目グラウンドを会場に行われました。あいにくの天候でしたが、約三万五千人の市民の方が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。まつりの企画、運営に携われた方々をはじめ、ご協賛、ご協力をいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。



前夜祭

昨年に引き続き、今年も開催された前夜祭。盆踊りや、アマチュアバンドによるオールディーズナンバーの演奏などが行われました。ビアガーデンやパザーなどもあり、多くの市民が楽しいひとときを過ごしました。



▲オールディーズの演奏でみんな踊り出す



花電車

市電まつりにすっかり定着した「花電車」。第5回市電まつりのPRのため、8月11日から20日まで、華やかな飾りつけの電車が街を走りました。



▶子供たちに大人気「超力戦隊オーレンジャー」とジャンケン大会



南22西15グラウンド

ステージ、ビアガーデン、バザー、縁日、子ども広場などの各種コーナーにたくさんの市民が訪れ、まつりを楽しみました。



▲伊藤多喜雄の熱唱にファンの皆さんも大興奮



電車事業所

市電と綱引き、市電体験運転など電車とのふれあいが大人気。市電の歴史展や工場の見学なども、人気を集めました。





午前6時10分

朝一番の市電が出庫。始発は、午前6時18分「中央図書館前」発「すすきの」、「西4丁目」行きです。電車事業所の敷地の中は手でポイントを切り替えますが、営業路線に出るところは、自動的にポイントが切り替わります。

朝8時台には、22台の市電が走っています。全車両は30台。日中の比較的すいている時間帯には15台の市電が動いています。

市電の最高時速は40km。西4丁目からすすきのまでの片道は約8.5kmあり、信号待ちやお客さんの乗り降りで40分ちょっとかかります。



午後11時43分

午後11時37分「中央図書館前」着の最終電車が車庫に到着。

車庫に入った後は、簡単な点検の後、内部の清掃をします。車輪は木製の車輪止めで止めます。これは、うっかり市電が踏んでしまうと脱線してしまうくらい丈夫なものです。

このようにして翌日の朝まで、市電はゆっくりと休みます。



線路下のピット（点検溝）から点検してくれる人が

市電には走る時間のローテーションがあり、一日中走る日と、朝のラッシュ時間が過ぎたあと夕方のラッシュまで休み日があります。

電車事業所に戻ると、必ず行うのが車輪など足回りの点検。電車の一番大事な部分です。



市電

の 一 日

私たちに身近な市電。
朝から夜まで、どのように
過ごしているのでしょうか。
一緒に電車の1日を
見てみましょう。

1日のながれ



午前 5 時 50 分

電車事業所の中では運転手の点呼が行われます。持ち物は、ハンドルやメーンキー、車内で販売するウィズユーカード(1000、3000円券)、1日乗車券、乗り継ぎ引換券などです。これらを持って、それぞれが運転する電車に行き、ドアや電気系統などの始業点検を行います。

市電は安全運行のため、毎日、このようにして営業路線へ向かうのです。



工場では…



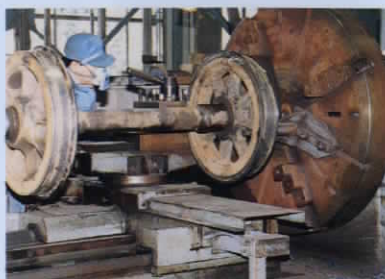
毎日いろいろと点検していますが、3年に1回、定期整備があります。

車体をボディと足回りに分け、足回りはさらに細分化してきれいに洗います。ボディも、シートを取り外してきれいにします。すり減った部品などは取り換え、またもとの姿に戻るのは約12日後です。



←このゴミの山は何？

銀色に光る、鉛筆の削りくずのようなゴミの山。これは、市電の車輪を削ったものです。このように表面を削って滑らかにし、使っています。



←私のくちびる、色っぼい？

口紅のように塗られているこの塗装は、市電の色を塗り直さなければならない場所を示すための一時的なものです。

このように「くちびる」があると、顔のように見えませんか。



路面電車サミット宣言

われわれ全国の路面電車愛好・支援団体と、公営民営の電車事業者は、電車が元気よく頑張る百万都市広島の地に集い、これからの電車について情報の交換と討論を深め、その結果を次の通り宣言する。

一 路面電車は人に優しく環境に優しい乗り物である。欧米の路面電車はLRT^{※1}の急速な普及により21世紀の乗り物と言われている。日本においても超低床式のLRTの導入を急ぎ、優しさを最大限に生かし、輸送力の充実を図り、中量輸送機関として復権を果たさねばならない。

一 路面電車は、車社会の悩みを解消する都市の公共交通機関として、市民のより深い理解を得る必要がある。サミットで生まれたあつい友好関係と全国のネットワークをもとに、電車が市民の足としてさらに愛されるため、さまざまな運動を展開する。このため、愛好・支援団体の全国協議会づくりをすすめる。

一 欧米における路面電車の復権は、大胆な助成と電車優先の都市交通体系によって実現したのである。日本でも、路面電車の新設と延長に積極的に取り組むべきである。国や自治体は、都市交通を担う路面電車の位置づけを明確にし、地下鉄や新交通システムと同様な助成制度を確立すべきである。助成制度やトランジットモール^{※2}など、電車優先行政の実現を図るため着実な運動を進める。

一 路面電車の日本における営業開始から今年で100年を機に、毎年6月10日を「路面電車の日」として制定する。この日を中心に全国的に各種行事・イベントを企画し、電車の魅力を広く知っていただく機会とする。

広島市で路面電車サミット開催

平成5年に札幌市で開催した「市電愛好団体サミット」の後を引き継ぎ、平成7年10月12日に広島市で「路面電車サミット」が行われました。

今回のサミットでは、

- ① 路面電車の日を6月10日に決定
(路〔6〕面電〔10〕車の数字の読み替えによる)
- ② 路面電車サミット宣言の採択(左記のとおり)
- ③ 次回開催地は岡山市の3つが決定しました。

今年も夢のある絵がいっぱい！ —ギャラリー電車の運行—



中央区内の幼稚園児、小学生を対象に、今年もまた「市電の絵コンクール」が行われました。集まった168点の夢があふれる絵のうち優秀作品40点は、平成8年3月18日から24日までの1週間、ギャラリー電車として営業運転中の3両の車両に展示され、乗客の目を楽しませました。

楽しかったまつりの思い出 —市電まつり写真展—

「第5回市電まつり」の楽しい様子を題材とした写真コンテストが行われ、その優秀作品7点などの写真を展示した「市電まつり写真展」が、札幌市資料館ミニギャラリーで平成7年11月22日から29日まで行われました。

優秀賞(2点)

- 「花電車」 奥定 寛さん
- 「可愛いモデルさん」 塚田定善さん

佳作(5点)

- 「夜の花電車」 遠藤暁司さん
- 「サッカー電車」 遠藤久栄さん
- 「バザーの裏側」 大沢恵太さん
- 「ステージ」 北岡智子さん
- 「市電まつりで行列の市民」 曾山正一さん



2002年ワールドカップを札幌で！ サッカーペイント電車登場



市電まつりをPRするため、時計台やさまざまな国旗、サッカーボールの気球に乗った世界各国の人々などを描いた「サッカー電車」が平成7年8月1日から20日まで運行されました。

デザインを担当したのは、北海道造形デザイン専門学校1年生の佐藤美和さん。車体への塗装作業は、同校の学生と担当教員が行いました。

※1 LRT=ライトレールトランジット
新しい路面電車の意

※2 トランジットモール=駅前広場

平成七年度の事業

市電の会では、第五回市電まつり、ギャラリー電車の運行のほか、会で組織している四つの委員会（総務委員会、市電まつり委員会、みどりの

委員会、街づくり委員会）のもとで、各種の事業を行っています。今年度は、市電沿線の美化活動の一環として市電沿線の清掃活動を



市電の会組織図 (平成2年12月発足)



行ったほか、電車事業所の花壇の整備や「西四丁目」「すすきの」「電車事業所前」停留所の木製プランターの設置、市電まつりの前に市電沿線の花で飾り通りに潤いを与える飾花事業などを行いました。

このほかにも「市電」が市民に愛され、親しまれていくように、今後さまざまな事業を進めていく予定です。

引き続き皆さんの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

会員募集

市電の会では、賛助会員を募集しています。市電の好きな方なら、個人でも法人やサークルなどの団体でも結構です。

入会金は、個人千円、団体一万円です。会員には、会員バッジを差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や中央区内の各連絡所でお渡ししている入会申込書に入会金を添えて、事務局までご持参ください（郵送でも結構です）。

入会の申し込みとお問い合わせは、市電の会事務局（中央区南三条西十一丁目・中央区役所市民課住民係内） ☎(231)2400 内線220へ。

